

みずほCustomer Desk Report 2022/12/28 号 (As of 2022/12/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	133.24 AUD/USD
TKY 9:00AM	132.79	1.0640	141.21	1.2084	0.6744
SYD-NY High	133.60	1.0669	142.25	1.2111	0.6775
SYD-NY Low	132.64	1.0612	141.20	1.2005	0.6726
NY 5:00 PM	133.51	1.0642	141.99	1.2031	0.6734

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,241.56	37.63	日本2年債	0.0300%	0.0100%
NASDAQ	10,353.23	▲ 144.64	日本10年債	0.4600%	0.0200%
S&P	3,829.25	▲ 15.57	米国2年債	4.3806%	0.0552%
日経平均	26,447.87	42.00	米国5年債	3.9440%	0.0827%
TOPIX	1,910.15	7.63	米国10年債	3.8468%	0.0968%
シカゴ日経先物	26,240.00	0.00	独10年債	2.5115%	0.1260%
ロンドンFT	-	-	英10年債	-	-
DAX	13,995.10	54.17	豪10年債	-	-
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	13.31%	▲ 0.04%
上海総合	3,095.57	30.01	USDJPY 3M Vol	12.47%	▲ 0.18%
NY金	1,823.10	18.90	USDJPY 6M Vol	11.57%	▲ 0.05%
WTI	79.53	▲ 0.03	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.67%	Yen Call Over
CRB指数	278.47	0.36	EURJPY 3M Vol	11.70%	▲ 0.32%
ドルインデックス	104.18	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	11.24%	▲ 0.15%

東京	東京時間のドル円は132.79レベルでオープン。仲値にかけて実需のドル買いもあり東京時間高値となる133.22を付ける。ドル買い一服後は、米国以外の主要国が休日で閑散となる中、132円台後半で上値重く推移。結局132.84レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台後半でスタート。26日はクリスマスの振替休日で欧米主要市場が休場のため参加者が少なかったが、本日も引き続き英国や香港がホリデーで休場となる中、流動性乏しい展開は継続。中国当局が入国規制の一部緩和を決定したことを受けて、リスクオンの流れが強まる中、クロス円の上昇にサポートされ、133.38まで上昇。小幅反落後、133.27レベルでNYオープン。朝方は米長期金利が3.8%に回復する動きを横目にドル円も買われ、一時133.60まで上昇。買い一巡後、133.18まで反落するも、その後は133.40近辺でしっかり。終盤はじり高推移。結局、133.51レベルでNYクロス。一方、ユーロドルは1.0636レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇が重しとなり、1.0612まで下落するも、一時3.83%台をつけていた米10年債利回りが再び3.8%を割り込むとユーロドルも買い戻しが入り、1.0660まで反発。午後は1.0640近辺で小動き。結局、1.0642レベルでクロス。

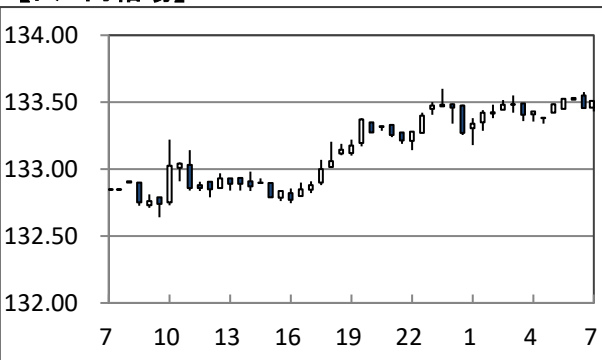
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月27日	08:30	日 失業率	11月 2.5%	2.6%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	11月 1.0%	0.3%
	23:00	米 FHFA住宅価格指数	10月 0.0%	-0.7%
12月28日	00:30	米 ダラス連銀製造業活動	12月 -18.8	-13.5

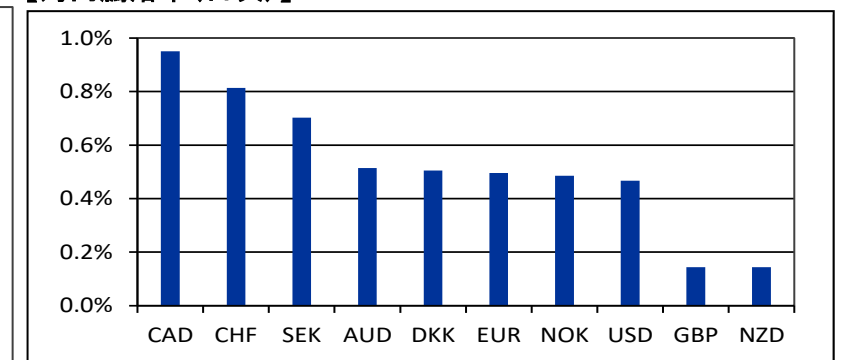
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月29日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	11月 -1.0%	-4.6%
	00:00	米 リッチモンド連銀製造業活動	12月 -10.0	-9.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.90-134.20	1.0580-1.0700	141.30-142.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調な値動きとなった。東京時間は動意の乏しい展開が続いていたが、海外時間に入ると、中国がゼロコロナ政策の緩和に踏み切ったことによる経済再開への期待感の高まりを受けて、リスクオンの円売り地合いに。米10年債利回りが3.72%台から3.85%台に上昇する動きを背景に、ドル/円は133.60円まで上値を伸ばす展開となった。その後一旦弱含むものの底堅さはキープし、133円台半ばで引けている。本日のドル/円は底堅い展開を予想する。中国のコロナ対策緩和を受けて、世界的なりセッション入りが回避されとの見方が強まっている様子。円買いの材料が見当たらないことに加えて、米長期金利の上昇も支援材料となり、ドル/円は底堅い動きとなりそう。しかし一方で、海外勢はクリスマス休暇明けとなるものの、年末を控えた本邦勢は取引を手控えるとも考えられる為、上値は限定的になるかと思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・逸見